

# 【分析事例】 担い手の分析

〈分析の視点等〉 (※事例は、静岡県を対象に作成しています。)

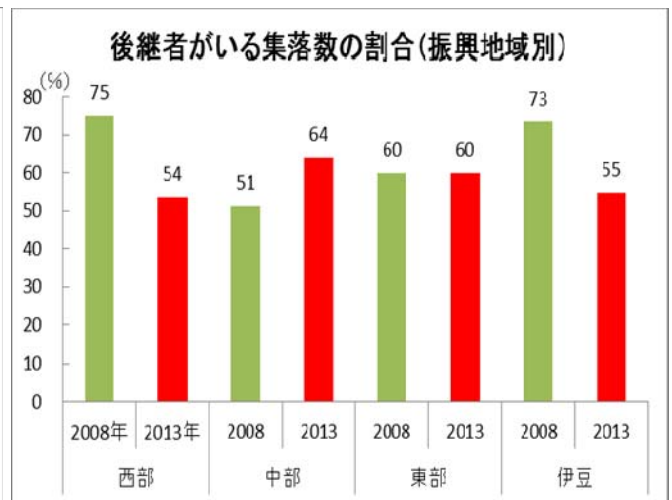
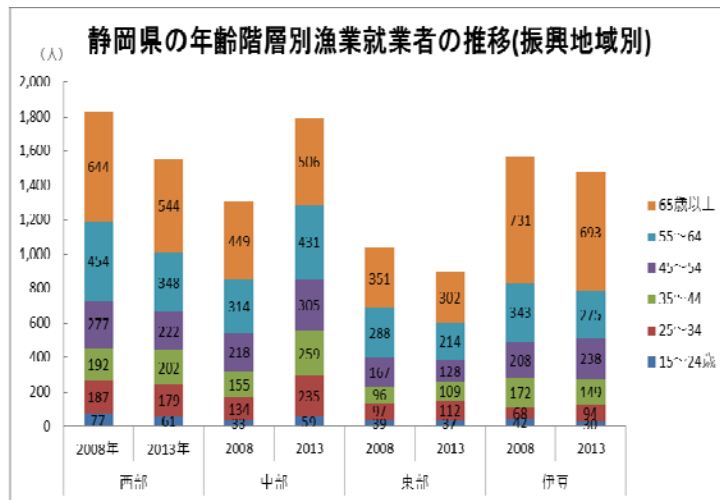
## ① 担い手の状況

- 年齢階層別漁業就業者の推移
- 後継者がいる集落数の割合

## ② 担い手の動向

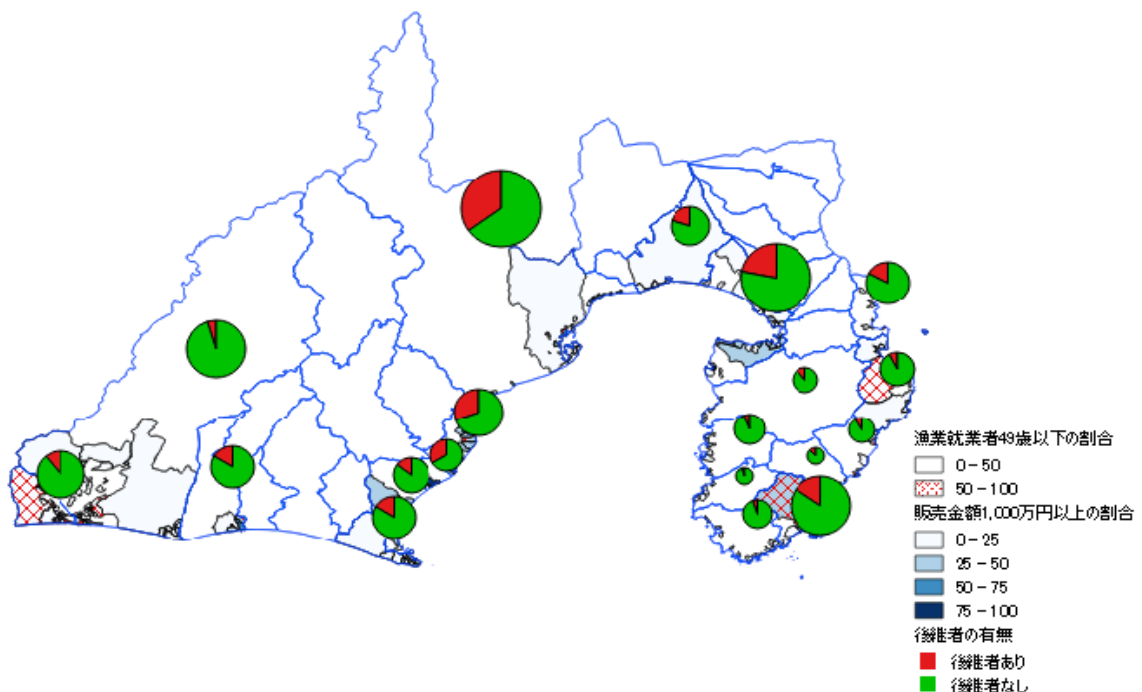
- 販売金額が1000万以上の経営体または49歳以下の漁業就業者がいる後継者有無別漁業集落 (平成25年)

### ① 担い手の状況



### ② 漁業就業者の動向

- ◆ 販売金額が1000万以上の経営体または49歳以下の漁業就業者がいる後継者有無別漁業集落 (平成25年)



# 【分析事例の作成方法】

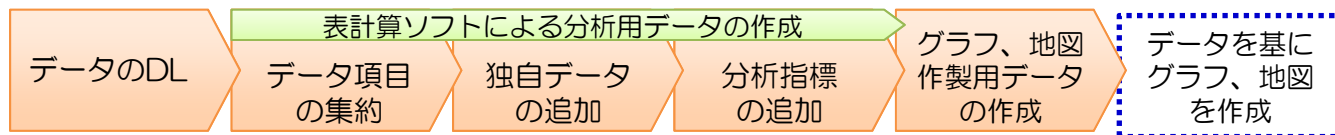
## 1 分析に用いたDB

表名 (ファイル名称)	表コード	年次	出典資料名	利用項目	対象列
漁業就業者_男女別年齢階層別漁業就業者数 (GA0140_2008_●●.xlsx) (GA0140_2013_●●.xlsx)	GA0140	2008 2013	漁業センサス	「男女計」、「男女_15~19歳」、「男女_20~24」~「男女_75歳以上」	K~W列
個人経営体_自家漁業の後継者の有無別経営体数 (GA0045_2008_●●.xlsx) (GA0045_2013_●●.xlsx)	GA0045	2008 2013	漁業センサス	「計」、「後継者あり」、「後継者なし」	J列 K列 L列
漁業経営体_漁獲物・収穫物の販売金額別経営体数 (GA0018_2013_●●.xlsx)	GA0018	2013	漁業センサス	「計」、「1000万円~1500万円」~「10億円以上」	Q~X列

## 2 分析データの作成方法

※表計算ソフトは、Microsoft Excelを利用しています。

### (1) 作業の流れ



### (2) 具体的なデータ作成の方法

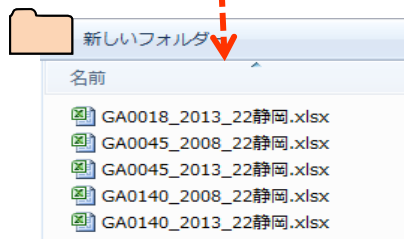
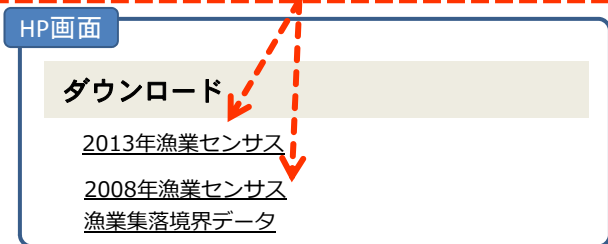
※詳しい作業の方法は、「データ利用の手引」を参照してください。  
[http://www.machimura.maff.go.jp/shurakudata/doc/tebiki\\_2015.pdf](http://www.machimura.maff.go.jp/shurakudata/doc/tebiki_2015.pdf)

#### ① 分析に必要なデータを活かすDBからダウンロードします。

【農林水産省ホームページ】  
 統計情報>漁業センサス>漁業版活かすDB

分析に必要な各年次のセンサス結果をダウンロードします。

ファイルは任意の場所に保存します。



#### ② DLファイルから分析に必要な項目を集約して、分析用のデータファイルを作成します。

- DLした「GA0140\_20●●\_X.X.xlsx」「GA0045\_20●●\_X.X.xlsx」「GA0018\_2013\_●●.xlsx」のファイルを開きます。利用するデータ項目がわかりやすいようにセルの色を付けています。
- 「GA0140」のように、1ファイルのデータ列が多い場合は、元ファイルで事前に分析に必要な計算を行うことで、分析用データが利用しやすくなります。

【GA0140\_20●●\_X.X.xlsxを展開】

利用するデータ項目

事前に作成した分析指標

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	AA
1	GC	PREF_NA	CITY_N	GARE	GOC	計														15~24歳	25~34歳	35~44歳	45~54歳	55~64歳	65歳以上	65歳未満	49歳以下の割合
2	000	静岡県	静岡市			6 505	46	181	282	264	334	388	470	563	753	860	869	889	600	227	546	722	1033	1613	2364	4141	30.208
3	000	静岡県	静岡市			865	1	24	60	54	69	52	63	75	94	97	113	114	49	25	114	121	138	191	276	589	37.341
4	000	静岡県	静岡市	蒲原		196	0	8	15	15	14	15	14	25	14	27	24	22	3	8	30	29	39	41	49	147	41.327
5	001	静岡県	静岡市	蒲原	新栄																						
6	002	静岡県	静岡市	蒲原	蒲原	62	0	4	5	3	6	9	6	3	3	6	11	6	0	4	8	15	9	9	17	45	53.226
7	003	静岡県	静岡市	蒲原	新田	40	0	1	4	2	3	2	2	5	3	5	3	8	2	1	6	5	7	8	13	27	35
8	004	静岡県	静岡市	蒲原	小全																						
9	005	静岡県	静岡市	蒲原	中	28	0	2	1	3	1	1	3	6	3	3	4	1	0	2	4	2	9	6	5	23	39.286
10	006	静岡県	静岡市	蒲原	堰沢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	007	静岡県	静岡市	蒲原	神沢	17	0	1	1	0	0	1	2	2	1	2	3	3	1	1	1	1	4	3	7	10	29.412

【 GA0045\_20●●\_××.xlsxを展開】

KEY	PREF	CITY	GAREA	GCOM	PREF_NAME	CITY_NAME	GAREA_NAME	GCOM_NAME	計	後継者あり	後継者なし
2	22000000	22	000	000	静岡県				2 801	431	2 370
3	22100000	22	100	000	静岡市				158	40	118
4	22100030	22	100	030	静岡市	蒲原			9	3	6
5	22100030	22	100	030	静岡市	蒲原	新栄				
6	22100030	22	100	030	静岡市	蒲原	新田		1	1	0
7	22100030	22	100	030	静岡市	蒲原	新田		3	0	3
8	22100030	22	100	030	静岡市	蒲原	新田				
9	22100030	22	100	030	静岡市	蒲原	中		1	0	1
10	22100030	22	100	030	静岡市	蒲原	堰沢		0	0	0
11	22100030	22	100	030	静岡市	蒲原	神沢		3	2	1

利用するデータ項目

【 GA0018\_2013\_●●.xlsxを展開】

GC	PREF	CITY	GAREA	GCOM	計	販売金額100万円未満	100~300	300~500	500~800	800~1,000	1,000~1,500	1,500~2,000	2,000~5,000	5,000万円以上	10億円以上	1,000万円以上割合			
000	静岡県				2 678	40	967	789	312	138	61	72	69	146	37	15	21	3	13.85362
000	静岡市				188	1	44	28	15	8	5	8	29	37	9	2	2	0	46.2766
000	静岡市	蒲原			21	0	0	2	0	0	0	2	5	7	5	0	0	0	90.47619
001	静岡市	蒲原	新栄		2														
002	静岡市	蒲原	蒲原		6	0	0	0	0	0	0	2	3	1	0	0	0	0	100
003	静岡市	蒲原	新田		3	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	100
004	静岡市	蒲原	小笠		2														
005	静岡市	蒲原	中		3	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	100
006	静岡市	蒲原	堰沢		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
007	静岡市	蒲原	神沢		3	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	93.33333

事前に作成した分析指標

- 展開した「GA0140\_20●●\_××.xlsx」データのT列~AA列に、また「GA0018\_2013\_●●.xlsx」データのY列に必要な分析指標を事前に作成しておきます。（上記事例は2008年のデータを利用したものです。）

### 分析指標の計算方法

#### 年齢階層別漁業就業者数の集約集計

- 2008\_15~24歳（人）＝「2008\_男女\_15~19歳」～「2008\_男女\_20~24」の階層合計値
- 2008\_25~34歳（人）＝「2008\_男女\_25~29」～「2008\_男女\_30~34」の階層合計値
- 2008\_35~44歳（人）＝「2008\_男女\_35~39」～「2008\_男女\_40~44」の階層合計値
- 2008\_45~54歳（人）＝「2008\_男女\_45~49」～「2008\_男女\_50~54」の階層合計値
- 2008\_55~64歳（人）＝「2008\_男女\_55~59」～「2008\_男女\_60~64」の階層合計値
- 2008\_65歳以上（人）＝「2008\_男女\_65~69」～「2008\_男女\_75歳以上」の階層合計値
- 2008\_65歳未満（人）＝「2008\_男女\_15~19」～「2008\_男女\_60~64」の階層合計値
- 2008\_49歳以下の割合＝「2008\_男女\_15~19歳」～「2008\_男女\_45~49」の階層合計値 / 2008\_漁業就業者数合計

#### 販売金額1000万円以上の経営体数の割合

$$1000万円以上の割合（\%）＝（「2008_1000~1500」～「10億円以上」の階層合計値） / 2008_漁業経営体数合計 * 100$$

- 全てのデータファイルの基本指標部分は、レコード数、並び順が一定となっています。このため、いずれかのファイルをベースに、もう片方のファイルからデータ項目列をコピー&ペーストします。【「GA0140\_20●●\_××.xlsx」に「GA0045\_20●●\_××.xlsx」の利用するデータ及び、「GA0018\_2013\_●●.xlsx」で事前に作成した分析指標を貼り付け。】

追加したデータ

GA0018\_2013\_●●.xlsxで事前に作成した分析指標データ

GC	PREF	CITY	GAREA	GCOM	2008_15~24歳	2008_25~34歳	2008_35~44歳	2008_45~54歳	2008_55~64歳	2008_65歳以上	2008_65歳未満	2008_49歳以下の割合	2013_15~24歳	2013_25~34歳	2013_35~44歳	2013_45~54歳	2013_55~64歳	2013_65歳以上	2013_65歳未満	2013_49歳以下の割合	2008_計	2008_後継者あり	2008_後継者なし	2013_計	2013_後継者あり	2013_後継者なし	2013_1,000万円以上割合
000	静岡県				227	546	722	1033	1613	2364	4141	3021	187	621	722	899	1271	2050	3700	34.07	2 801	431	2 370	2 558	332	2 226	13.85
000	静岡市				25	114	121	138	191	276	589	373	25	124	139	119	194	186	601	43.84	158	40	118	158	55	103	46.28
000	静岡市	蒲原			8	30	29	39	41	49	147	41.33	3	28	43	29	47	37	150	47.06	9	3	6	12	7	5	90.48
001	静岡市	蒲原	新栄																								
002	静岡市	蒲原	蒲原		4	8	15	9	9	17	45	53.23	0	8	14	13	11	14	46	46.67	1	1	0	3	1	2	100
003	静岡市	蒲原	新田		1	6	5	7	8	13	27	35	0	10	7	5	8	8	30	52.63	3	0	3	2	2	0	100
004	静岡市	蒲原	小笠																								
005	静岡市	蒲原	中		2	4	2	9	6	5	23	39.29	0	4	5	3	8	5	20	40	1	0	1	1	0	1	100
006	静岡市	蒲原	堰沢		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

新しいフォルダー

注：項目名が同じ場合は、調査年次などを追加して、それぞれのデータ項目が分類できるようにしてください。また、集約したファイルは、元データを保護するためにも別名で保存しておくようにしましょう。

名前保存した分析用データ

- 【分析】担い手の分析.xlsx
- GA0018\_2013\_22静岡.xlsx
- GA0045\_2008\_22静岡.xlsx

③ 各地域の状況や保有している独自のデータを必要に応じて追加します。

- ・ 利用者自らが作成した独自データを取り入れることで様々な集計が可能となります。

【静岡県の振興地域を独自データとして追加】

○市区町村ごとに一定の地域を指定

西部 = 1 浜松市、磐田市、掛川市、袋井市、湖西市。御前崎市、菊川市、森町  
 中部 = 2 静岡市、島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市、吉田町、川根本町  
 東部 = 3 富士市、沼津市、御殿場市、富士宮市、裾野市、清水町、長泉町、小山町  
 伊豆地方 = 4 熱海市、三島市、伊藤市、下田市、伊豆市、伊豆の国市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町、函南町

	E	F	G	H	I	Z	AA	AB	AC	AD	AE	AF	AG
	GC	PREF_N	CITY_N	GARE	GOO	2008	2008	2008	2013	2013	2013	2013	2013
	OM	AME	AME	A_NAME	M_NAME	計	後継者あり	後継者なし	計	後継者あり	後継者なし	1,000万円以上割合	県内表章地域西部=1,中部=2,東部=3,伊豆=4
1						2 801	431	2 370	2 558	332	2 226	13.85	
2	000	静岡県	静岡市			158	40	118	158	55	103	46.28	
3	000	静岡県	静岡市	蒲原		9	3	6	12	7	5	90.48	
4	001	静岡県	静岡市	蒲原	新栄								
5	002	静岡県	静岡市	蒲原	蒲原	1	1	0	3	1	2	100	
6	003	静岡県	静岡市	蒲原	新田	3	0	3	2	2	0	100	
7	004	静岡県	静岡市	蒲原	小金								
8	005	静岡県	静岡市	蒲原	中	1	0	1	1	0	1	100	
9	006	静岡県	静岡市	蒲原	堰沢	0	0	0	0	0	0		
10	007	静岡県	静岡市	蒲原	神沢	3	2	1	3	2	1	33.33	
11	007	静岡県	静岡市	蒲原									

ポイント！

- ・ フィルタ機能を活用し、該当する振興を表示することで、振興地域の項目を確認することができます。

④ 分析用データをグラフや地図に利用できるように加工します。

- ・ 作成するグラフによって、集計除外判定フラグを各自設定して、集計を行います。

【集計除外行判定フラグの追加】

○集計除外行判定フラグの設定

集計除外行判定フラグ①・・・市町村のデータで漁業就業者のグラフを作成するため、漁業地区と漁業集落データを除いて、市町村データだけを抽出できるようにフラグを設定

集計除外行判定フラグ②・・・後継者がいる集落数のグラフを作成するため、漁業集落コード（E列GCOM）が「999」である非認定漁業集落のレコードと市町村データ、漁業地区データを除いて、漁業集落データだけを抽出できるようにフラグを設定

	E	F	G	H	I	Z	AA	AB	AC	AD	AE	AF	AG	AH	AI
	GC	PREF_N	CITY_N	GARE	GOO	2008	2008	2008	2013	2013	2013	2013	県内表章地域西部=1,中部=2,東部=3,伊豆=4	集計除外行判定フラグ①	集計除外行判定フラグ②
	OM	AME	AME	A_NAME	M_NAME	計	後継者あり	後継者なし	計	後継者あり	後継者なし	1,000万円以上割合			
1						2 801	431	2 370	2 558	332	2 226	13.85			
2	000	静岡県	静岡市			158	40	118	158	55	103	46.28		0	1
3	000	静岡県	静岡市	蒲原		9	3	6	12	7	5	90.48		1	1
4	001	静岡県	静岡市	蒲原	新栄									1	1
5	002	静岡県	静岡市	蒲原	蒲原	1	1	0	3	1	2	100		1	0
6	003	静岡県	静岡市	蒲原	新田	3	0	3	2	2	0	100		1	0
7	004	静岡県	静岡市	蒲原	小金									1	1
8	005	静岡県	静岡市	蒲原	中	1	0	1	1	0	1	100		1	0
9	006	静岡県	静岡市	蒲原	堰沢	0	0	0	0	0	0			1	0
10	007	静岡県	静岡市	蒲原	神沢	3	2	1	3	2	1	33.33		1	0
11	007	静岡県	静岡市	蒲原										1	0

集計除外行判定フラグの設定方法

集計除外行判定フラグ①(上記図中のセルAF3を対象)

AH3=IF(ISTEXT(H3),1,0))

① ②

①の条件式により、GAREA\_NAME(漁業地区)(H列)に地区名があれば「1」(集計から除外)を値として返します。

②で①に該当しない場合、「0」を値として返します。

集計除外行判定フラグ②(上記図中のセルAG3を対象)

AI=IF(E3="999",1,IF(OR(H3="",I3="",AA3="",AD3=""),1,0))

① ② ③

①の条件式により、漁業集落コード（E列GCOM）が「999」である非認定漁業集落のレコードである場合、「1」(集計から除外)を値として返します。

②の条件式により、GAREA\_NAME(漁業地区名)(H列)、GCOM\_NAME(漁業集落名)(I列)、「2008\_後継者あり」(AA列)、「2013\_後継者あり」(AD列)が空白の場合、「1」(集計から除外)を値として返す。

③で②に該当しない場合、「0」を値として返します。

- また、データに含まれる文字で入力された「-」を「0」（ゼロ）に、「@」、「…」 「X」を「」（空白）に置換しておきます。

**ポイント！**

- 「X」、「@」や「-」等の文字列の場合、次の分析指標の計算において「#VALUE!」などのエラーとなります。エラーはグラフ作成や地図作成の際に正しく表示されない場合がありますので、この段階でエラーとならないように置換します。
- 置換の方法は、データ利用の手引を参照に作業を行ってください。

⑤ グラフ用データを作成します。

- ④で作成したデータを基に、グラフ作成に必要な集計表を作成します。ここでは、振興地域別に5年間の漁業就業者の動きを見るために、2008年、2013年の年齢階層別漁業就業者を振興地域別に集計したデータを作成します。

【年齢階層別漁業就業者のグラフ作成に用いるデータの集計表】

集計するデータ領域    グラフに利用するデータ領域

	漁業就業者数の推移(地域別)									
	西部		中部		東部		伊豆		計	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	2008年	2013年	2008	2013	2008	2013	2008	2013	2008	2013
15~24歳	77	61	33	59	39	37	42	30	191	187
25~34	187	179	134	235	97	112	68	94	486	620
35~44	192	202	155	259	96	109	172	149	615	719
45~54	277	222	218	305	167	128	208	238	870	893
55~64	454	348	314	431	288	214	343	275	1,399	1,268
65歳以上	644	544	449	506	351	302	731	693	2,175	2,045
計	1,831	1,556	1,303	1,795	1,038	902	1,564	1,479	5,736	5,732

集計のための関数

例：① 西部 15~24歳の漁業就業者（2008年）の場合

$$=SUMPRODUCT((\blacksquare!\text{AH2:AH405}=0)*(\blacksquare!\text{AG2:AG405}=B4),(\blacksquare!\text{J2:J405}))$$

①集計市町村の判断

②振興地域の判定(西部)

③15~24歳階層の漁業就業者(2008)の実数集計の範囲を指定

② 中部 15~24歳の漁業就業者（2008年）の場合

$$=SUMPRODUCT((\blacksquare!\text{AH2:AH405}=0)*(\blacksquare!\text{AG2:AG405}=D4),(\blacksquare!\text{J2:J405}))$$

④振興地域の判定(中部)

③ 中部 25~34歳の漁業就業者（2013年）の場合

$$=SUMPRODUCT((\blacksquare!\text{AH2:AF405}=0)*(\blacksquare!\text{AG2:AG405}=D4),(\blacksquare!\text{S2:S405}))$$

⑤25~34歳階層の漁業就業者(2013)の実数集計の範囲を指定

※上記数式の「 $\blacksquare$ 」は集計対象となるデータが入力されているExcelシート名となります。

- ①では、集計対象となるレコードを判定します。集計除外行判定フラグから市町村データに該当するもの(AH列「集計除外判定フラグ」の「0」)を判定します。
- ②、④では、集計対象となった市町村データに対して、いずれの振興地域であるかを振興地域コードを参照し、AG列の「県内表章地域」項目から判定します。
- ③、⑤では、①、②、④の条件に合致するレコードに対して、どの項目を集計するかを指定します。③は、2008年の15~24歳階層の漁業就業者数を集計するため、当該データが入力されているJ列「2008\_15~24歳」項目を指定しています。⑤は、2013年の25歳~34歳の漁業就業者数を集計するため、当該データが入力されているS列「2013\_25~34」項目を指定しています。



- ここでは、振興地域別に後継者がいる漁業集落の動きを見るために、2008年、2013年の後継者有無別の漁業集落データを振興地域別に集計した表を作成します。

【後継者がいる集落数のグラフ作成に用いるデータの集計表】

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1									
2		後継者がいる割合(地域別)							
3		西部		中部		東部		伊豆	
4		1	2	3	4				
5		2008年	2013年	2008	2013	2008	2013	2008	2013
6	集落数(計)	(a) 56	56	39	39	25	25	64	64
7	後継者がいる集落数(計)	42	(b) 30	(c) 20	25	15	15	47	35
8	後継者がいる集落数の割合	(d) 75.00	53.57	51.28	64.10	60.00	60.00	73.44	54.69
9									

### 集計のための関数

例：(a) 西部（2008年）集落数(計)の場合

=SUMPRODUCT((**■**!A12:A1405=0)\*(**■**!AG2:AG405=B4),(**■**!AA2:AA405>=0))

①集計漁業集落の判断

②振興地域の判定(西部)

③後継者あり(2008)の実数集計の範囲を指定(後継者ありの値>=0を集計)

(b) 西部（2008年）後継者がいる集落数(計)の場合

=SUMPRODUCT((**■**!A12:A1405=0)\*(**■**!AG2:AG405=B4),(**■**!AD2:AD405>0))

⑤後継者あり(2013)の実数集計の範囲を指定(後継者ありの値>0を集計)

(c) 中部（2008年）後継者がいる集落数(計)の場合

=SUMPRODUCT((**■**!A12:A1405=0)\*(**■**!AG2:AG405=D4),(**■**!AA2:AA405>0))

④振興地域の判定(中部)

(d) 西部（2008年）後継者がいる集落数の割合

=B7/B6\*100

※上記数式の「**■**」は集計対象となるデータが入力されているExcelシート名となります。

①では、集計対象となるレコードを判定します。集計除外行判定フラグから漁業集落データに該当するもの(A列「集計除外判定フラグ」の「0」)を判定します。

②、④では、集計対象となった市町村データに対して、いずれの振興地域であるかを振興地域コードを参照し、AG列の「県内表章地域」項目から判定します。

③、⑤では、①、②、④の条件に合致するレコードに対して、どの項目を集計するかを指定します。③は、2008年の漁業集落数を集計するため、当該データが入力されているAA列「2008\_後継者あり」項目を指定しています。

⑤は、2013年の後継者がいる漁業集落を集計するため、当該データが入力されているAD列「2013\_後継者あり」項目を指定しています。

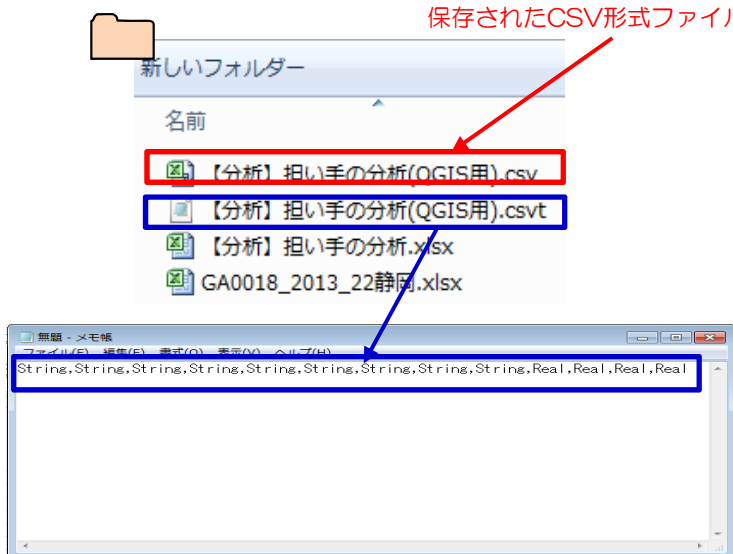
⑥ QGISソフトで利用するデータを作成します。

- ⑤で作成したデータを基に、QGISソフトで利用する分析指標を別のエクセルでまとめます。

QGISソフトで利用する分析指標

	A	B	C	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1	KEY	PREF	CITY	GC OM	PREF_N AME	CITY_N AME	GARE A_NA ME	GCO M_NA ME	2013_1,000万円以上割合	2013_49歳以下の割合	2013_後継者あり	2013_後継者なし
2	22000022	000	000	000	静岡県				13.853622	34.069565	332	2 226
3	22100022	100	000	000	静岡県	静岡市			46.276596	43.837357	55	103
4	22100022	100	000	000	静岡県	静岡市	蒲原		90.47619	47.058824	7	5
5	22100022	100	001	000	静岡県	静岡市	蒲原	新栄				
6	22100022	100	002	000	静岡県	静岡市	蒲原	蒲原	100	46.666667	1	2
7	22100022	100	003	000	静岡県	静岡市	蒲原	新田	100	52.631579	2	0
8	22100022	100	004	000	静岡県	静岡市	蒲原	小金				
9	22100022	100	005	000	静岡県	静岡市	蒲原	中	100	40	0	1
10	22100022	100	006	000	静岡県	静岡市	蒲原	堰沢			0	0
11	22100022	100	007	000	静岡県	静岡市	蒲原	神沢	33.333333	43.75	2	1

- ⑤で作成したデータを基に、QGISソフトで利用可能なCSV形式データを作成します。  
「ファイル>名前を付けて保存」で「ファイルの種類(T)」を「CSV(カンマ区切り)(\*.csv)」に変更して名前を付けて保存します。また、メモ帳を開き、CSVファイルを作成します。



**ポイント!**

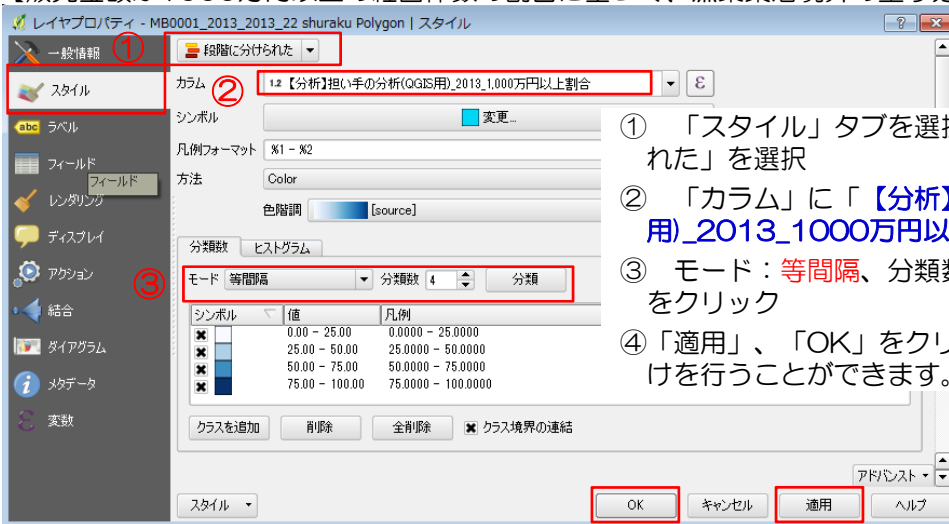
- QGISソフトでは、CSVデータを読み込むと、数値であっても文字列として読み込むため、CSVファイルの各項目が数値か文字列かを指定するためのCSV形式の設定ファイルを作成します。
- このCSVファイルと作成したCSVデータの名前は同一である必要があるため、ここで同じ名前にしておきましょう。
- ※ 詳しくは、「データ利用の手引Ver2.0」21ページを参照してください。

※文字列(String)9個、実数値(Real)4個の順番でデータが並んでいることを意味しています。

**アドバイス①!**

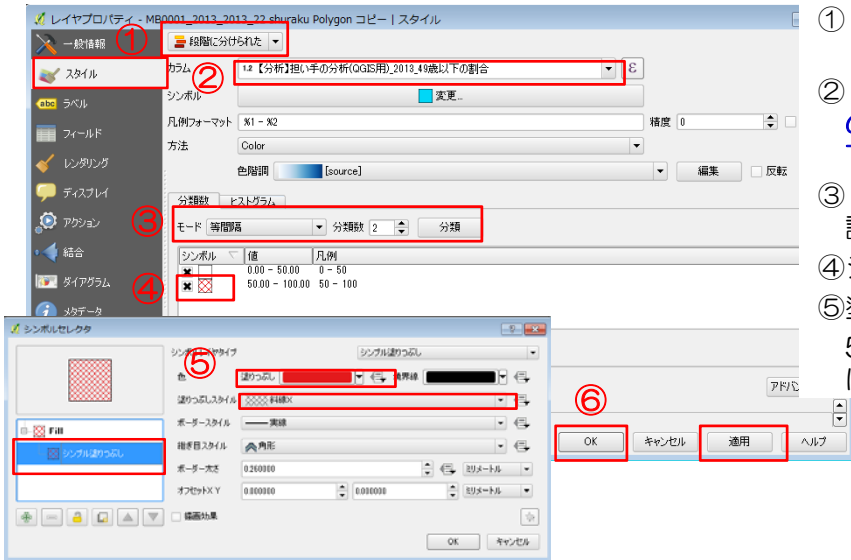
- 事例の地図の色分けを行うには、QGISソフトのレイヤプロパティ>スタイルにより色分けのルールを指定する必要があります。事例で指定した内容を紹介します。

【販売金額が1000万円以上の経営体数の割合に基づく、漁業集落境界の塗り分け】



- ① 「スタイル」タブを選択し、「段階に分けられた」を選択
- ② 「カラム」に「【分析】担い手の分析(QGIS用)\_2013\_1000万円以上割合」を選択
- ③ モード：等間隔、分類数：4に設定し、分類をクリック
- ④ 「適用」、「OK」をクリックすることで塗り分けを行うことができます。

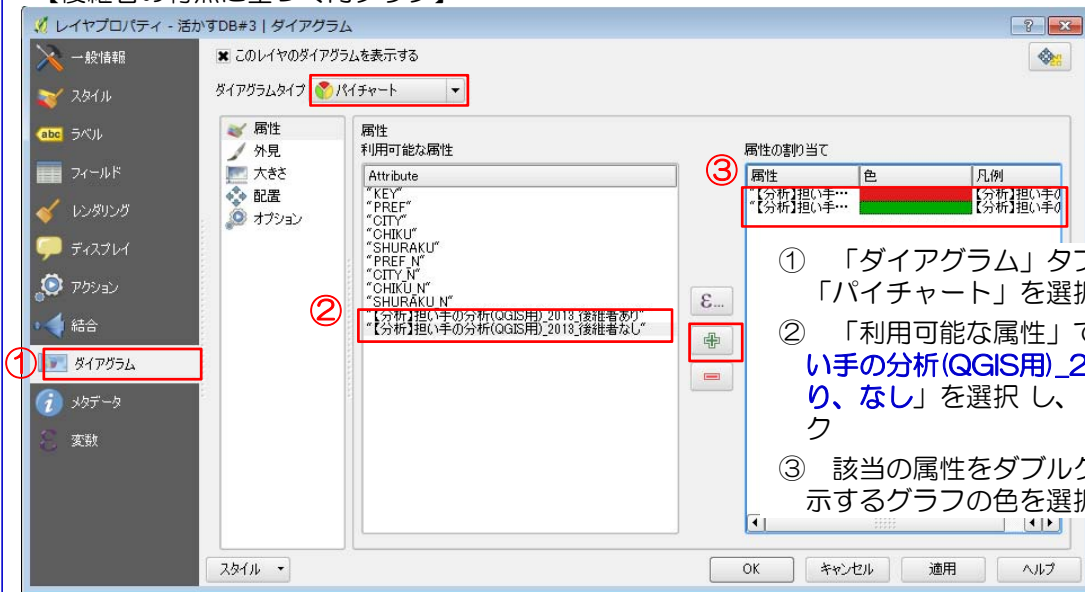
【漁業就業者49歳以下の割合に基づく、漁業集落境界の塗り分け】



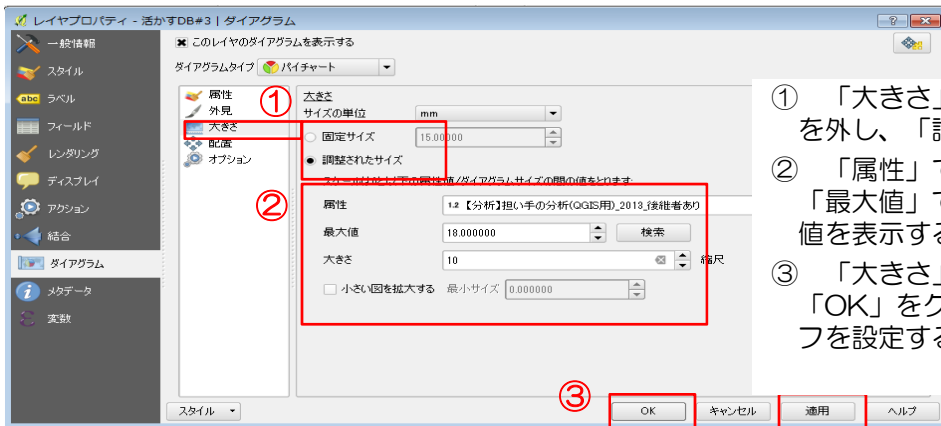
- ① 「スタイル」タブを選択し、「段階に分けられた」を選択
- ② 「カラム」に「【分析】担い手の分析(QGIS用)\_2013\_49歳以下の割合」を選択
- ③ モード：等間隔、分類数：2に設定し、分類をクリック
- ④ シンボルをダブルクリック
- ⑤ 塗りつぶしの色とスタイルを設定。50以上には「斜線X」、50未満には「ブラシなし」を設定します。

## アドバイス②!

- 事例の円グラフは、QGISソフトのレイヤプロパティ>ダイアグラムから円グラフの設定を行う必要があります。  
【後継者の有無に基づく円グラフ】



- ① 「ダイアグラム」タブを選択し、「パイチャート」を選択
- ② 「利用可能な属性」で「【分析】担い手の分析(QGIS用)\_2013\_後継者あり、なし」を選択し、「+」をクリック
- ③ 該当の属性をダブルクリックし、表示するグラフの色を選択



- ① 「大きさ」で「固定サイズ」の選択を外し、「調整されたサイズ」を選択
- ② 「属性」で「後継者あり」を選択。「最大値」で検索を押すとデータの最大値を表示する
- ③ 「大きさ」を設定し、「適用」、「OK」をクリックすることで円グラフを設定することができます。